

# 平和が いちばん

2019年2月15日 第140号  
平和で豊かな枚方を  
市民みんなでつくる会

東恩納名護市議を  
ゲストに迎えて総  
決起集会を開催。4  
月の市議選で複数  
当選をめざして「市  
民の会」は闘おうと  
会場満杯の参加者  
と誓い合いました。  
(2/9 市民会館)



## 政務活動費 必要でしょうか？

市会議員の報酬は年間約 1100 万円です。この高額報酬とは別に請求すれば年間 84 万円の政務活動費（政活費）が支給されます。全国の勤労者の平均給与は約 420 万円です。報酬額がこの水準なら、議員活動を保障するために政活費を認めていく必要があるでしょう。また国民年金の平均支給額は月 5 万 5 千円。これより多い月 7 万円が別枠で保障されているのは「議員特権」といわざるを得ません。この政活費は地方自治法で支給することが「できる」と規定されているだけで、必ず支払わなければならないものではありません。現に全国では 93 の自治体が支給していません（2017 年末現在）。政活費の支給と額を決めるのは議会です。自分たちで自分達への支給を決めるのは「お手盛り」です。「政活費廃止」を 2016 年 7 月泉南市議会は全会一致、全ての会派が賛成して決めました。やればできます。全国の自治体で政活費の不正使用の報道が続いています。兵庫県議会議員の号泣は記憶に新しく、

つい最近では富山市会議員が不正受給だと詐欺容疑で書類送検されました。不正の温床だといえます。枚方ではどうでしょうか。政活費を受け取っている議員の請求内容を閲覧すると、以前にスマートフォンの購入費を批判されたりガソリン代請求に疑念を指摘された議員の請求額は一挙に下がっています。これは議員も後ろめたく思い恐る恐る請求していることの一例です。

この政活費の厳密な審査のために議会事務局はたくさんの人手と時間と経費をかけています。報道されているような不正の類似行為がないか審査しなくてはならないからです。膨大な事務がつかまとう政活費は廃止して、事務局職員は本来の調査活動などを充実させること、あわせて年間 2000 万円を超える議員への政活費は市民生活に直結する分野で活用するよう強く要求します。なお枚方市議会では 32 人の議員のうち、手塚たかひろ議員他数人が一円も請求していません。やればできます。

### 意見

#### 市役所建替えは見直し

駒木根淑子

昨年「平和がいちばん」十二月号で紹介された枚方市駅周辺及び市庁舎再整備計画は、総事業費千四百億円、そのうち市の持ち出し分は二百十六億円という大再開発計画だ。

枚方市の保有地が民間に売られ、岡東中央公園・現市役所・現市民会館の近くに五十六階建てと三十階建てのタワーマンションがそびえ、七階建て、五階建ての商業施設と五階建ての駐車場が並び、市役所は駅から遠くなるというもの。

何人かの市民から「率直な声」を聴くことができた。駅前に必要なのはタワーマンションではなく市役所。そして、その機能を分散させてはならない。

\*市役所が駅から二倍も遠くなり、駅と結ぶ長い歩行デッキも美観や防災上よろしくない。

\*タワーマンションは地震・火災などの災害に対応できるのか、ビル風を生む

ことはないのか？

\*高齢化・人口減少社会にタワーマンションは必要か？

\*緑の面積をもっと増やし、「枚方のセントラルパーク」をつくるとよい。

\*駅前の一等地は市民のために使うべきです。タワーマンションは民間の業者を利するだけだ。

\*現在の市役所や公園の底地を売却して市民への負担を少なくするというのが市長の言い分。「次世代にツケを残さない」をうたい文句にする維新らしい思惑だが、合同ビルに入居する市役所は数十年後にはまた建て替えが必要。その時の資金はどう考えるのか。「それはその時」では現世代は贅沢をして、子や孫に大金を背負わす典型ではないか。「美田」はみんなの共有の財産だ。一世代の間、

たちで処分できるような、ましてや一期の市長や議員に売り払う資格はない。

## 松田久子 ホットタイム



1957年彦根市生まれ 滋賀大学教育学部卒 81年から枚方市の障がい児施設・高齢者施設で働き  
介護職経験33年 ケアマネジャー10年  
介護・福祉「すずらんの集い」代表

### 沖縄の民意に向き合わない政府は、地方自治の破壊者

2月24日に沖縄辺野古新基地建設の賛否を問う沖縄県民投票が行われる。実施にあたり当初、5市が不参加と報道されていたが、選択肢を3択にすることで県全体での実施が可能になった。この動きを実現したのは、県民投票を呼びかけた若者の抗議のハンストや、5市での不参加に異議を唱える市民の運動、また知事の5市への粘り強い働きかけなどがあった。現地では昨年12月14日から土砂の搬入が強行され貴重な大浦湾の自然が破壊されている。待ったができない状況である。私が代表を務める「戦争法廃止 憲法変えるな！辺野古新基地建設中止 枚方・交野実行委員会」でも年明けから、改憲反対の全国3000万署名に加え「沖縄・辺野古新基地NO！武力なき平和を求める署名」を開始した。この間、辺野古の問題がマスコミで取り上げられることが多くなり街頭での関心も以前より高まっていると感じる。自ら近寄って来てくれる市民も目立つ。

15日から始まる沖縄県民投票の期日前投票に合わせ、私たち実行委員会は14日から24日まで連帯支援の「市民投票」に取り組む。14日は11時～14時中央公園前で街頭行動を行い、24日には午後5時半から市民会館で集約集会を行う。

沖縄の民意を真摯に受け止めない政府の姿勢は、市民の声が届かない枚方市政と重なる。

## 手塚たかひろ 議員日誌



1月14日 「第70回はたちのつどい」 今年も4中で行われた集いに参加した。枚方市の新成人は、男性2306人、女性2267人の計4573人。全市の若者が一堂に集まらず各中学校単位で行われるようになって13回目。集いは4中吹奏楽部による演奏で始まり、PTAのコーラスで終わる。式は行政主体で滞りなく進んだ。新成人の出番は代表一人が決意を述べだけ。もっと新成人が登場できる場が欲しいと思った。若者の政治離れが言われて久しいが、政治にも関心を持って自分で判断できる大人になって欲しい。その環境づくりは私たち先輩の責任だ。

1月27日 交野市星田北開発を考える市民集会に参加 この集会で「星田北地域をにぎわいのあるまちに戻し、市道星田高田線を安全な道に拡幅整備することを求める」請願を交野市議会に提出することが確認された。星田開発、枚方市駅周辺再整備、どちらも市民のためでなくゼンコンの利益のための開発だ。毎朝1000人以上が通う星田高田線の存続と拡幅は枚方市民にとっても切実な要求。交野市民とも連携して取り組みたい。

1947年佐賀県唐津市生まれ  
京都大学経済学部卒 京都市役所34年間勤務 主に福祉職場で働く 2011年市議初当選 現在2期目

1月29日 沖縄県民投票、全県実施へ 辺野古新基地建設に対する県民投票について、沖縄県議会が修正案を可決したことで、投票不参加を表明していた5市も参加し沖縄県全県で投票が実施されることになった。大きな前進だ。憲法で保障された市民の投票権を奪う行為に、県民や全国からの批判が巻き起こった。市民の力が政治を動かした。沖縄に学び、市民の力をより大きくして、この春、枚方市を変えたい。

1月24日 1月分議員報酬から192,280円を大阪法務局に供託。私は政務活動費は1円も受け取っていません。

〒573-0027

枚方市大垣内町

2丁目8-27

シンエービル別館A

市民の広場ひこばえ

TEL&FAX

072-846-8780

### 平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)

奥村 秀二 (弁護士)

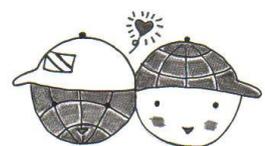
おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)

事務局長 手塚 隆寛 (枚方市議員)

事務局次長 松田 久子 (「すずらんの集い」代表)

メールアドレス : [hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp](mailto:hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp)

ホームページ : <http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク  
塔本賢一さん作

